

歴史総合、世界史探究

(解答番号 1 ~ 33)

第1問 歴史総合の授業で、近現代の世界と日本について、資料やグラフを基に追究した。次の文章A～Cを読み、後の問い合わせ(問1～9)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。) (配点 25)

A 次の資料1・2は、授業で先生が提示した日本の昭和恐慌期の大蔵大臣が行った演説の一節である。

資料1

失業救済ならびに防止については……土木事業を増加施行する……これに要する経費を追加予算に計上した。〔昭和〕七年度一般会計実行予算においては多額の財源不足を来すので減債基金繰入れの一部停止を実行すると同時に現行の公債法による事業公債ならびに満洲事件公債を発行するのほか、新に歳入補填公債を発行するのやむを得ざるに至った。(中略)公債の額は一般会計および特別会計を通じて総計五億二千九百五十余万円で、右公債発行方法は日本銀行並に預金部その他政府部内の資金をもってこれを引受けしめ、一般市場における公募はこれを避くる方針である。次にわが国的情勢を見るに、今日においては金融の緩和をはかり産業の正當なる取引に必要な数量の通貨を円滑に供給するの途を講ずることがもっとも必要であると思う(中略)輸入を防遏^{ぼうあつ}(注)するとともに国内産業を保護助長するとはもっとも必要であるから政府は緊急の必要ありと認むる輸入品につ税率の引上げを行う……

(注) 防遏——防ぐ

資料2

現下世界経済界の不況はその深刻なる点においてもはたその範囲の広汎なる上においても真に未曾有の現象たることはいうまでもないところであるが、さてかくのごとき惨状を見るに至りたるは決して人類の生活に必要な物資

第2回 歴史総合、世界史探究

の欠乏に基づくものにあらざることは明らかであります。（中略）否生産品はむしろ供給過大にしてその始末に窮し生産設備の大部分は休止しおるの有様であります、換言すれば生産と消費との間に均衡を失するにいたりたる結果であります、しかしてその両者の連絡調節を円滑ならしむるための要具はなんぞやといえば勿論通貨であります、しかるにその通貨をば経済界の大なる変動に応じて適当に供給すべき根本制度のうえに欠陥を見出さるにいたりたること争うべからず、即ち金融関係が今回の①世界恐慌に重大関係を有したることは識者のひとしく認むるところであります。

問1 鈴木さんのグループは、資料1の内容を要約したメモを作成した。生徒たちがまとめたメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

1

鈴木さんのメモ

土木事業などで失業者救済をはかり、財源不足を補うために公債を発行する。

佐藤さんのメモ

公債を発行するための財源は、日本銀行や政府部内の資金などが引き受ける。

田中さんのメモ

国内産業の発展のために自由貿易政策をとり、必要な輸入品の関税を引き下げる。

- ① 鈴木さんのメモのみが正しい。
- ② 佐藤さんのメモのみが正しい。
- ③ 田中さんのメモのみが正しい。
- ④ 鈴木さんと佐藤さんのメモが正しい。
- ⑤ 鈴木さんと田中さんのメモが正しい。
- ⑥ 佐藤さんと田中さんのメモが正しい。

問2 資料1・2の演説を行った人物が入閣していた政権の時期に、日本は金本位制を離脱した。その時の内閣名と政権与党の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 浜口雄幸内閣—立憲民政党
- ② 浜口雄幸内閣—立憲政友会
- ③ 犬養毅内閣—立憲民政党
- ④ 犬養毅内閣—立憲政友会

問3 下線部①に関連して、世界恐慌発生以後の世界の状況について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 日本は、満洲事変発生後に国際連盟を脱退した。
- ② ドーズ案によって、ドイツの経済は回復に向かった。
- ③ スペイン内戦が発生し、人民戦線政府が勝利した。
- ④ ソ連は五ヵ年計画によって、世界恐慌で打撃を受けた経済を回復させた。

解説

第1問

〈出題テーマ〉

「近現代の世界と日本」

〈出題のねらい〉

本問は近現代の世界と日本をテーマに、Aでは世界恐慌と日本の昭和恐慌、Bではアメリカ合衆国を中心とした経済史、Cでは中東問題と日本を扱った。なお、資料は以下をもとに作成したものである。

A 資料1「世界各国に優る 我が不況反発力」（大阪毎日新聞1932年6月4日夕刊）、資料2「世界的不況は物価下落が原因」（大阪毎日新聞1933年4月22日朝刊）

〈解説〉

問1 1 正解④

資料1は、昭和恐慌期に大蔵大臣を務めた高橋是清の演説である。

鈴木さんのメモは正しい。資料1の内容から、高橋蔵相の政策として、失業救済・防止のために土木事業を増加実行すること、財源不足を補うために事業公債を発行することが読み取れる。

佐藤さんのメモは正しい。先に述べた財源不足を補うための公債の発行を日本銀行等（「日本銀行並びに預金部その他の政府部内の資金」）に引き受けさせることが資料1の政策にあげられている。

田中さんのメモは誤り。資料1には国内産業を保護するために輸入品への関税率を引き上げる関税政策（保護貿易）が示されている。

問2 2 正解④

金本位制を離脱したのは立憲政友会の大蔵内閣のことである。高橋是清は大蔵内閣および続く斎藤実内閣で蔵相を務めており、資料2は斎藤内閣時の演説である。

第一次世界大戦中、日本を始め各国は金本位制を停止していたが、戦後、金本位制に復帰するようになっていた。日本も金本位制復帰を掲げる立憲民政党の浜口雄幸内閣が成立すると、1930年に金本位制に復帰（金解禁）した。しかし、当時1929年に起った世界恐慌の影響で日本も深刻な不況に見舞われ、さらに海外への金の流出が続いたため、浜口内閣後に政権についた立憲政友会の大蔵内閣の下で金本位制からの離脱（金兌換の停止）を行い、政府が通貨量を管理する管理通貨制度に移行した。

問3 3 正解①

日本は関東軍による柳条湖事件をきっかけに満洲国の成立を宣言した（1932）。それに対するリットン報告書に

基づく、日本軍への満洲からの撤退要求に不満を持ち、日本は国際連盟を脱退した。

②ドーズ案は、1924年に成立したもので、世界恐慌（1929）以前の出来事である。③スペイン内戦は1936年に発生した人民戦線政府とフランコ率いる反乱軍の内戦で、最終的に反乱軍が勝利した。④ソ連は五ヵ年計画による計画経済を採用していたため、世界恐慌の影響は受けていない。

問4 4 正解①

空欄[A]には7割が入る。リード文とグラフをヒントに計算して求める。リード文に「世界全体の金保有量が約30,000トン」とあり、グラフ1を見ると、第二次世界大戦後にもっとも近い1950年の時点ではアメリカ合衆国の金保有量は20,000トン強であることから、保有量が世界全体の金保有量の約7割であることが計算で導ける。

空欄[I]にはドルが入る。アメリカ合衆国の通貨単位を入れればよい。なお、ポンドはイギリスの通貨単位で、19世紀のパクス・ブリタニカの時代に基軸通貨となつたが、ブレトン・ウッズ体制の成立で基軸通貨の地位をドルに譲ることとなつた。

空欄[W]には自由化が入る。第二次世界大戦の一因として、各国が経済のブロック化を進め、自国救済を優先したことがあった反省から、1941年に米英首脳（フレンクリン・ルーズベルト、チャーチル）によって発表された大西洋憲章で、自由貿易体制を築くことが戦後世界の目標とされた。

問5 5 正解③

③はベトナム戦争へのアメリカ合衆国の介入（1965～73）を示している。

①は1970年代の出来事。田中角栄首相が中国と国交を回復し、1972年日中正常化が行われた。②はスエズ戦争（第2次中東戦争、1956～57）におけるイギリスとフランスの出兵である。④は1980年代の日米貿易摩擦について述べられているため、時代が合致しない。

問6 6 正解②

プラザ合意（1985）は、1980年代に入り、財政赤字と貿易赤字の「双子の赤字」に苦しむアメリカ合衆国を救済するため、G5（米・英・仏・日・西独）の蔵相・中央銀行総裁がニューヨークのプラザホテルで会談し、ドル高を是正し、アメリカ合衆国の貿易赤字を改善させることで合意した。特に最大の対米貿易黒字を持っていた日本との関係では急速な円高ドル安が進んだ。なお、第1次石油危機は1970年代の出来事なので時代が合致しない。この石油危機では原油価格が上昇し、安価な石油の大量消費に経済に依存していた先進諸国は打撃を受けた。

B 犬井さんのグループはサハラ砂漠周辺を流れる大河と、その流域の歴史について調べることになった。以下は、犬井さんたちがまとめたメモからの河川1～3についての抜き書きである。

河川1

セネガル川はサハラ砂漠南縁のギニア中部に端を発し、北西へと抜け、セネガルとモーリタニアの国境を流れ、セネガルのサン＝ルイ島のあたりで大西洋に流れ出る。サン＝ルイ島は、17世紀以降フランスの①奴隸貿易の拠点となり、西アフリカ奥地への植民地拡大の際にも利用された。19世紀末、この島にフランス領西アフリカの首都が置かれ、セネガル川はアフリカ横断政策に貢献することになった。

河川2

ニジェール川は、ギニア東部の高原地帯を水源とし、サハラ砂漠南部・ニジェール南西部を流れ、ナイジェリアでギニア湾に注ぐ。中流域には、トンブクトゥやジェンネなど、ア王国の中心都市があり、ムスリム商人との金やイの交易で栄えた。これだけの大河であるが、長きに渡ってナイル川につながると誤認されており、ヨーロッパ人にとって河口の位置が判明したのは、19世紀前半であった。

河川3

ナイル川の上流には、東アフリカのヴィクトリア湖周辺から北上する白ナイル、もう一方はエチオピア高原から時計回りに流れ出す青ナイルがある。この二本の川がスーダンのハルツーム付近で合流して、さらに北上し河口では広大な三角州を形成し地中海に注ぐ。エジプトにイスラーム勢力が進出した後、白ナイル川流域では徐々にイスラーム化が進行したが、青ナイル川流域の②エチオピア帝国は、地理的孤立もあり、キリスト教の信仰を守り続けた。

問4 下線部④に関連して、奴隸貿易や黒人奴隸について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 西インド諸島では、黒人奴隸を用いたサトウキビ＝プランテーションが形成された。
- ② 奴隸貿易により、アフリカ西海岸でクシュ王国が栄えた。
- ③ アメリカ合衆国では、建国と同時に黒人奴隸制が廃止された。
- ④ イギリスでは、18世紀前半に奴隸貿易が禁止された。

問5 前の文章中の空欄 ア 王国の歴史について述べた文あ・いと、空欄 イ に入れる語句X・Yについて、最も適当なものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

ア 王国の歴史について述べた文

- あ 国王マンサ＝ムーサがメッカ巡礼を行った。
- い イベリア半島に進出した。

イ に入れる語句

X 香辛料 Y 塩

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

問6 下線部⑤のエチオピア帝国は、19世紀末のイタリアによる侵略を撃退して20世紀に至るまで独立を保った。次の図中のa～dのうち、エチオピア帝国と同様に20世紀初めに独立国であった地域(国)を示したものとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25



① a

② b

③ c

④ d

第4問

〈出題テーマ〉

「砂漠地帯の歴史」

〈出題のねらい〉

この問題のテーマは、砂漠地帯の歴史である。Aでは、中央アジアのタクラマカン砂漠の歴史を、Bではアフリカのサハラ砂漠周辺の歴史をテーマにした。ともに世界史の中で周辺地域となるが、旧センター試験では頻出していたため、共通テスト対策としても、学習をおろそかにしてはならない。

〈解説〉

問1 **20** 正解⑥

あ チャガタイ=ハン国(チャガタイ=ウルス)は、チンギス=ハンの次子のチャガタイの子孫が中央アジアに形成した国家である。成立の時期には諸説あるが、おおむね14世紀初めのこととされる。その後14世紀半ばになると、政権は東西に分裂したが、やがて西チャガタイ=ハン国からティムールが現れ、中央アジアに大勢力を築くこととなる。

い 西遼(カラキタイ)は、1125年に金と北宋の挾撃によって遼が滅んだ際、遼の王族のひとりであった耶律大石が西方に逃れ、中央アジアで建国した国である。その成立は12世紀前半のことである。13世紀初め、トルコ系のナイマンによって滅亡した。

う カラハン朝は、中央アジア初のトルコ系イスラム王朝である。建国時期には諸説あるが、10世紀中頃のこととされる。建国後にイスラーム教を受容し、10世紀末には中央アジアのイラン系イスラーム王朝であるサーマーン朝を倒したことで、中央アジアのトルコ化が進んだ。

これらを時代順に正しく配列すると、うーいーあととなる。

問2 **21** 正解③

人物の名は、おが正しい。マルコ=ボーロは、ヴェネツィア出身の商人かつ旅行家である。父や叔父とともに元を目指し、オアシスの道(シルク=ロード)を抜けて中国に至ると、クビライ(フビライ)に仕えることとなり(この人物について述べた文のX)、17年間も元にとどまった。やがて帰国すると、ジェノヴァとの戦いの際に捕虜となり、その際に獄中で東方での経験を口述筆記させたものが、『世界の記述』(『東方見聞録』)である。えのプラノ=カルピニは、13世紀中頃、教皇インノケンティウス4世の命を受け、モンゴルに派遣されたフランチエスコ会の修道士である。オアシスの道より北方にある草原の道を抜けて大モンゴル国(カラコルム)に入り、第3代ハンのグユクに謁見した。なお、Yの大都でカトリックを布教した人物として知られるのは、13世紀末、海路

で中国にやってきたモンテ=コルヴィノである。以上よりプラノ=カルピニの実績について述べた文がX・Yのいずれにもあてはまらないので、おーXが正しい組合せとなる。

問3 **22** 正解④

ロシアは、クリミア戦争の敗北以後、バルカン半島での南下を一時中断して、中央アジアや中国方面への南下を加速させた。中央アジアでは、ウズベク人の国であるブハラ(ボハラ)=ハン国(1868)、ヒヴァ=ハン国(1873)を相次いで保護国化し、コーカンド=ハン国は併合した(1876)。

①1828年、ロシアとトルコマンチャーイ条約を結んだのは、オスマン帝国ではなく、ガージャール朝ペルシア(イラン)である。この条約は、ロシアがガージャール朝に治外法権を認めさせるなどの不平等条約であった。これ以降、ガージャール朝はロシア以外の列強とも不平等条約を結ぶこととなった。②アイグン条約(1858)ではなく北京条約(1860)が正しい。1858年のアイグン条約は、清朝が太平天国の乱やアロー戦争で苦しむ中、ロシアの東シベリア総督ムラヴィヨフが、清と調印したものである。この条約で、アムール川(黒竜江)以北をロシア領とした。その後アロー戦争の講和を仲介した見返りに北京条約を結び、ロシアは沿海州を獲得した。③アフガン戦争は、19世紀に2度、20世紀に1度イギリスとアフガニスタンとの間で行われた戦争であり、ロシアが起こした戦争ではない。第2次アフガン戦争で、イギリスはアフガニスタンを保護国化したが、第一次世界大戦後の1919年、第3次アフガン戦争によってアフガニスタンは独立を果たした。

問4 **23** 正解①

1492年にコロンブスが到達して以来、西インド諸島は、スペイン人が進出したが、やがてイギリスやフランスも進出してくるようになった。これらの国々は、アフリカ西海岸から移入された黒人奴隸を使役して、スペインはキューバ、イギリスはジャマイカ、フランスはサン=ドマング(ハイチ)などでサトウキビ=プランテーションを形成した。

②ポルトガルをはじめとして、多くのヨーロッパの国々はギニア湾周辺のアフリカ西海岸に黒人奴隸を求めてやってきたが、ヨーロッパ人に黒人奴隸を供給したのは現地の黒人王国であった。この奴隸貿易で栄えた国として知られるのは、ベニン王国やダホメ王国などである。クシュ王国は、前10世紀頃から後4世紀頃にかけてナイル川上流にあった国である。エジプトに進出するなどの時期もあったが、エチオピアのアクスム王国の攻撃を受け滅

亡した。③アメリカ合衆国で黒人奴隸制が廃止されたのは、南北戦争中の1863年にリンカーン大統領が発表した奴隸解放宣言より後のことである。南北戦争終了後の1865年の合衆国憲法修正第13条で正式に廃止された。④イギリスで奴隸貿易が禁止されたのは19世紀初頭の1807年に制定された奴隸貿易禁止法によってである。その後、1833年に奴隸制が廃止された。

問5 **24** 正解②

空欄 **ア** の直前にトンブクトゥがあることで、空欄 **ア** にあてはまるのが、その中心都市としてトンブクトゥが繁栄していた国であることがわかる。トンブクトゥは古くから交易の拠点であったようだが、繁栄を見せたのは、マリ王国からソンガイ王国にかけての時期であるので、空欄 **ア** には、マリもしくはソンガイが入るとわかり、あが正しいと判断できる。

あのマンサ・ムーサは14世紀のマリ王国全盛期の王である。いについて、この周辺の地域でイベリア半島に進出したことで知られるのは、モロッコのベルベル人王朝であるムラービト朝やムワッヒド朝である。

空欄 **イ** に入る語句は、サハラ砂漠を越えて西アフリカとマグリブのムスリム商人との交易品である。西アフリカは、前述のマリ王国の王マンサ・ムーサのメッカ巡礼の際に大量の金をメッカなどに持ち込んだことでも知られるように、金の産地であった。しかし、内陸部であったため、人間の生活にとって必要不可欠な塩(Y)が不足していた。この金とムスリム商人が運ぶ塩がサハラ継続交易のおもな交易品であった。なお、Xの香辛料は、アイユーブ朝やマムルーク朝の保護を受けたカーリミー商人がカイロでイタリア商人と取引きした。

問6 **25** 正解①

図中の **a** はリベリア共和国である。リベリアは、1847年に西アフリカに送られたアメリカ合衆国の解放奴隸が建国した国である。首都の名を、西アフリカに送られた当時のアメリカ大統領モンローの名からモンロビアとし、国旗を星条旗に似たデザインにし、アメリカ合衆国憲法を模範とした憲法を制定するなど、アメリカ合衆国とのつながりを示すことで、ヨーロッパ列強はこのリベリアを植民地化することはなかった。

図中の **b** はチュニジアである。チュニジアは、1881年にフランスの保護国となり、1956年に第四共和政政府によって独立を承認された。図中の **c** は、スーダンである。1899年、スーダンはイギリス・エジプトの共同統治領となつた。図中の **d** はジブチである。1869年に、フランスのレセップスがスエズ運河を建設すると、紅海の出口にあたるこの地の重要性が増したため、フランスが進出し、

1896年にフランス領ソマリランドとして植民地にした。

第5問

〈出題テーマ〉

「革命や改革で建設された『国民国家』」

〈出題のねらい〉

フランス革命期から19世紀半ばのフランス、19世紀半ばのドイツ、19世紀後半のオスマン帝国における国民国家の建設や近代化に関する資料や会話文を用いて、関連する事項について出題した。資料や会話文の内容を正確に読解して正答を導いてほしい。なお資料は以下に基づいて作成したものである。

問1 資料1：シェイエス『第三身分とはなにか』、資料2：「フランス人民への臨時政府の宣言」(ともに歴史学研究会編『世界史史料6』岩波書店)

問3 資料3：「ドイツ帝国憲法(1849年)」、資料4：「フランクフルト国民会議に宛てたパラッキーの書簡」(ともに歴史学研究会編『世界史史料6』岩波書店)

〈解説〉

問1 **26** 正解①

空欄 **ア** には第三身分が入る。資料1は、シェイエスが著した『第三身分とは何か』の一部で、このなかでシェイエスは身分制度を批判し第三身分の権利を主張した。なお、第一身分とよばれたのは聖職者である。

空欄 **イ** には共和政が、空欄 **ウ** には二月が入る。ここの組合せは固定されているので、二つまとめて判断する。資料2の冒頭「……民衆の血が七月と同様に流れた。しかし今度は、この高潔なる血は裏切られることはないであろう。……」およびメモ1の「選挙権拡大運動を発端として起こった **ウ** 革命」から、七月革命で成立した七月王政が制限選挙を続けたことに反対する選挙法改正運動を背景に勃発し、七月王政を打倒した二月革命と判断する。二月革命の結果、フランスでは第二共和政の臨時政府が成立した。

問2 **27** 正解④

ギルドは国民議会のときに廃止された。これはフランス革命の勃発によって新たに営業の自由が認められたことに基づく。

①教会による十分の一税は、フランス革命勃発直後に出来された「封建的特權の廃止」の中で廃止された。②立法議会はオーストリアに宣戦布告したが、戦況が不利になると、国王がオーストリアに通じていると疑ったパリの民衆と義勇兵がテュイルリー宮殿を襲って国王ルイ16世を幽閉し、王権を停止させた(8月10日事件)。③封建地代は国民議会の時に有償廃止と定められたが、国民